

◆ 立川都税事務所長賞 ◆

「税を学ぶ」

小金井市立小金井第一中学校 3年 阿部 真幸

税について、日本ではネガティブな印象をもたれている。調べてみると71パーセントもの方が「税金を多く感じる」と回答している。私も親と一緒に買い物に行った際、店の表示やレシートを見て「なんでこんなに払わなければいけないのか」「払って何の意味があるのか」などと思っていた。

今回税について調べてみたら、暮らしをよくするために税が使われていると知り、考え直してみた。

私の学校では生徒一人一人にクロームブックが貸与されている。調べてみると現在、全国の公立小中学校で96パーセントもICTツールが普及しているようだ。このおかげで、調べ学習がより効率的になったり、タイピング技術を身につけたりすることができる。また、私たちの学校の体育館には新しくエアコンが設置された。コロナの対策のためかもしれないが、そのおかげで快適になり体育館の活動に、より専念することができた。他にも、今年高校に進学した姉も都の補助を利用してタブレットを購入し、様々な学習に使用している。

この頃、このように学びに関していろいろな機器等が充実してきたと思う。

2019年に消費税率が、8パーセントから10パーセントに引き上げられて税の負担がさらに増えた。しかし、このように学びの向上などに使われているとすると、とてもありがたいと思うと同時に、学びが進みやすくなると思う。

最近では、ウクライナ問題などにより、多くの食品や光熱費が値上げされた。その結果、税の負担もますます増えてきた。私たちの生活にも影響が出るだろうが、さらによくするために使ってくれればと思う。

私が将来、納税する側に立ったとしても、気持ちよく税を納めていきたい。はじめは、ネガティブなイメージを持っていたが、ちょっと調べてみただけでもいろいろな場面に税が使われていて、私自身もその恩恵を受けているのだと実感した。税には所得税や自動車税などの沢山の種類があり、使い道も色々ある。もっと税について詳しく調べることで、税の大切さを知ることができるだろう。さらに数十年後、自分がもう一度税によって支援される側に立つことになる。そのことについて考えると、嫌がらずに税を納めていきたい。

調べれば重要だとわかる税を多くの方が高いと感じているのはなぜか。税金を納めても実際にどの様に使われているのかよく知らないのではないか。また、無駄に使われているところもあるからなのかもしれない。そのため、より多くの方が税について知るべきだと思う。また、国や自治体も税に関する情報をより多く提供した方がよいと思う。そして無駄のないように使ってほしい。